

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年六月度 入選句 (投稿総数千七百九十五句・小中学投句数千二百十六句)

### 特選

あじさいがそろってみんなで家族写真 大垣市 坂 文 太(小六)

あじさいが美しい季節です。咲き誇ったあじさいを家族揃って見ながら「きれいな。」「この色がいいな。」などと話しながら「家族で写真を撮ろう」ということになったのですね。きつとほい「チーズ」などと言いながら撮られたのでしょうか。俳句は、「カメラで撮るように」「瞬を切り取るのがよい」といいますが、美しいあじさいをバックに撮られた家族の瞬間の笑顔とその様子が思い浮かぶ句です。

雷に負けない声出す部活動 美濃加茂市 加藤 駿 弥(中二)

作者は運動系の部活動に所属していて、放課後仲間とかけ声を掛け合って練習していたのでしよう。

そんな時、遠くから雷の音がしてきたのですね。雷は怖いですがまだ遠くだったのでしよう。「ゴロゴロ」という雷の音はしてきた中でも跳ね返すような大きな掛け声を掛け合って練習に励んでいたのですね。元気勇気が出る一句です。

ただ、雷は怖いです。無理をしないように気をつけてくださいね。

かえるたちたんぼがホール発表中 大垣市 松崎 望来(小六)

「かえる」は春の季語ですが、春よりもむしろ今の時期、田に水が入り田植えの準備が終わった頃からがにぎやかに鳴き始めますね。その様子を「たんぼがホールで発表中」としたところがおもしろいです。作者はきつとかえるの鳴き声がまるでホールで聞く音楽会のように思えたのでしよう。蛙の鳴き声に共感していることが伝わる句です。

### 秀逸

水草が川の流れを示めしてる 大垣市 墨 亜沙華(小六)

かたつむり雨が降ってもマイペース 美濃加茂市 天池 ひより(中二)

梅雨入りも関係ないよバスケット部は 美濃加茂市 今井 夢菜(中二)

ひまわりの上向く姿まねしたい 美濃加茂市 美濃輪 莉香(中二)

無我夢中走り続ける夏休み 美濃加茂市 山口 裕右奈(中二)

雨上がりはじめてとんだホタルの子 大垣市 山田 優杏(小二)

ころもがえぼくの気もちもかるくなる 大垣市 杉原 勇次(小三)

母の日はいつもいじょうにおてつだい 大垣市 生駒 海翔(小三)

雨つぶが池にわをかき遊んでる 大垣市 関谷 晃介(小四)

かえるたちみんな集まりマーチング 大垣市 長瀬 僚汰(小四)

水草が水の流れてフラダンス 大垣市 浅野 柊一(小六)

入選

滝の音すきとおる色ソーダ水 大垣市 柏 鈴 乃(小六)

川の中こいと水くさおどってる 大垣市 三石 ろこ(小六)

桜の木みどり一つにそまってる 大垣市 下里 琉稀(小六)

かたつむりなんであめのひでかけるの 大垣市 なかしま はる(六才)

ひまわりに応援されて走る僕 美濃加茂市 加藤 優奈(中二)

校舎から虹たつ空に手をのぼす 美濃加茂市 美濃輪 万心(中二)

のき下にツバメの大工家づくり 大垣市 早野 恵濕(小五)

かにおどるいわのあいだにかおだして 大垣市 谷崎 穂乃花(小五)

あめんぼう流れに逆い走ってく 大垣市 大橋 知洋(小六)

もん白ちようお花のみつはおいしいかい 大垣市 佐竹 華(小三)

入選

あじさいの葉のかさかりたかたつむり 大垣市 影山 莉乃(小三)

夕立ちでネコといっしょに雨やどり 大垣市 渡辺 開斗(小四)

つゆ入りを新しいかさでばんまつ 大垣市 後藤 幸太郎(小四)

すいかのね黒いいなずまかっこいい 大垣市 田中 愛美(小四)

ホテルさん消えたりついたりお話しだ 大垣市 林 実南(小五)

風がふく田んぼの水が波をうつ 大垣市 田中 りんたろう(小五)

ころもがえ私の心もスカットね 大垣市 加藤 れな(小五)

祖母の持つかごいっばいの初なすび 大垣市 水谷 光希(小五)

花火見る父さんの目が虹色だ 大垣市 芦野 涼也(小五)

雨音と声を合わせるかえるの子 大垣市 藤井 港司(小六)

選者吟

若葉風少年団のユニホーム

祐子